
目次

.....
【1】 --- 教員コラム 15 弾 第 8 回「コピー」から「ダウンロード」
解剖学教室生体構造科学部門/松田賢一

.....
【2】 --- 統制語 MeSH2022 に更新

.....
【3】 --- 年末年始の図書館休館について

.....
【4】 --- 2021 年の図書館 3 大ニュース

.....
[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 15 弾 第 8 回「コピー」から「ダウンロード」

解剖学教室生体構造科学部門/松田賢一

.....
私は、学部学生時分、“図書館で勉強する派”ではありませんでした。しかし、図書館にはよく行っていました。参考図書を借りるためもありますが、“図書館で勉強する派”の友人からの試験対策の情報を得るためが多かったです。先輩からもらった過去問の情報や出題内容の噂（ほとんどがガセネタでしたが・・・）を小声で伝え合いました。これもある意味、“図書館の情報”なのかもしれません。そして、図書館では多量の資料をコピーしました。今の学生はコピーはせず、電子データで資料をシェアしているようで、なんとも羨ましい限りです。

研究室に入ってから、図書館との関わりはもっぱら研究活動に関するものとなりました。配属後間もないころ、恩師より図書館で論文をコピーしてくるよう頼まれました。渡されたリストには、“Proc Natl Acad Sci”や“J Clin Invest”などと書かれており、何のことかわからず、先輩に雑誌の名称であることを教わりました。図書館に行きコピーしましたが、Reference 欄をコピー代の無駄だと勝手に判断して省いてしまいました。恩師に渡すやいなや、Reference が無いと怒られました。論文内容の引用元が重要なんだと教わった次第です。私自身も少しずつ論文を読むようになり、期せずして教わった孫引きもするようになって

いきました。あるとき恩師に「コピー代がかかってたいへんです」と愚痴ったところ、「今は簡単にコピーできるけど、昔はコピー機が無かったから、手書きで論文を書き写したり、図をスケッチしたりしてたんだよ」と窘められ、返す言葉がありませんでした。ただ一方で、お金がかかるぶん、どの論文をコピーするかよく読んで吟味していたように思います。

本学に着任し、しばらくは論文をコピーしに頻繁に図書館行きました。その後、徐々にオンラインで論文が読めるようになりました。自分のデスクで論文をダウンロードして閲覧することができ、時間は格段に短縮されました。それとともに、図書館に行く機会も減ってしまいました。以前は論文のコピーを分野別に書棚にまとめていたのが、コンピュータのフォルダーにまとめるように変わっていきました。検索して関係ありそうだと、よく読みもせずとりあえずダウンロードといった作業も多くなり、以前よりじっくり論文を吟味しなくなったようにも思います。読みたい論文に購読制限が掛かっている状態でダウンロードできない場合、少々イラッとしてしまう自分もいます。今回、図書館運営協議会委員を拝命し、遅ればせながら、オンラインアクセスのために高額の予算が割り当てられていることを知った次第です。いわば、コピー代を負担して下さっているわけで、その恩恵の大きさを痛感しました。

今後は情報技術が益々発展することで、印刷物としての論文雑誌は減少し、教育に関しても従来の教科書・図譜だけでなく、CG や VR を駆使した教材が多用されるようになると思われます。図書館は名の通り図書を収めるだけでなく、情報センターとしての役割を果たしていくと予想されます。本学図書館の今後がどうなるのか、心配であり、また、楽しみでもあります。学生を中心に多くの人が集う場所であって欲しいと思います。私は、信号につかまらないように小走りで河原町通を渡るのが、嫌いじゃないです。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 統制語 MeSH2022 に更新

.....

MEDLINE を提供している米国国立医学図書館(NLM)より、2022年版MeSH(Medical Subject Headings)の追加や変更が[発表されました](#)。

[MeSH ブラウザ](#)にて確認できます。

追加用語(277 個)の一例：

- ・「COVID-19 Vaccines」に4種類のワクチンが下位語として追加
- ・「Vaccine Efficacy」が追加
- ・「Predatory Journals as Topic」が追加

■ [インデキシングの自動化に関する情報](#) ■

NLM では「MEDLINE 2022 Initiative」として、インデキシングの自動化への移行を進めています。これにより、ユーザーは MeSH が索引されたデータにタイムリーにアクセスできるようになります。

【3】 --- 年末年始の図書館休館について

.....

本館と下鴨館共に、年末年始は休館します。

2021/12/28(火)～2022/1/4(火)

年始は 1/5(水)9:00 から開館します。

電子ジャーナル、契約データベースは年末年始に関わらず、利用できます。

【4】 --- 2021 年の図書館 3 大ニュース

.....

令和 3 年最後のメールニュースになりました。2020 年に引き続き、感染症に見舞われた一年を振り返り、編者の独断と偏見で今年の図書館 3 大ニュースをランキングしてみました。

1.緊急事態宣言の発令や解除に伴う閉館時間の変更

[\[1/22\]](#), [\[2/5\]](#), [\[3/5\]](#), [\[4/30\]](#), [\[5/14\]](#), [\[6/25\]](#), [\[8/20\]](#), [\[10/1\]](#) 号]

2.オンライン受講の部屋、お貸しします [\[7/23\]](#) 号]

3.ご自由にお持ち帰りください [\[9/17\]](#) 号]

[Book Review]

.....

エーリッヒ・ケストナー著 「飛ぶ教室」(新潮文庫 2014)

クリスマスが好きで12月になると細々としたクリスマス飾りを部屋に置いたりイルミネーションを見に行ったりクリスマス映画を観たりする。

勿論読書もしかり、ということで児童文学の巨匠ケストナーのクリスマス物語「飛ぶ教室」。クリスマス会で自作劇「飛ぶ教室」を上演するギムナジウム5年生の少年達が主人公の群像劇。実業学校の生徒達との諍い、皆の尊敬を集めている舎監の道理さんと相談役禁煙さんの邂逅、気弱なウーリの一大決心、個性的な教師や寮生達との交流など大小様々な事件が起こり少年達の家庭の複雑な事情なども絡んでクリスマス当日舞台の幕が上がる。

物語の語り口はあくまで明るくユーモアに溢れているが根底に流れているのはいかなる時でも強く誇り高くあれという著者の子ども達への真摯な願いである。ナチス時代著書を燃やされ児童文学以外の出版を禁じられたという事情も作品に深い影響を与えている。クライマックスの静謐で美しい聖夜の野外シーンは挿絵と共にいつまでも印象に残る。クリスマスシーズンに子どもとかつて子どもだった全ての人にお勧めの一冊。(Y.S)

(京都市右京中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/edit/1/4102186417>

.....
図書館メール News 第 455 号 2021.12.24 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....
(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>